

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月19日

協議会名:高知市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー確保維持計画

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
有限会社さくらハイヤー	鏡地域デマンド型乗合タクシー(区域運行)	地域の会や地域公共交通会議にて事業の状況報告・意見聴取を行った上で、現状維持で事業を継続することとした。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 【目標達成率】78% (目標:2008人/年) 【利用者数】1,573人/年 (対前年比:79%) (対前々年比:78%) 【収支率】4.22% (対前年比:▲3.66%) (対前々年比:▲4.79%) 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、特に市街地近くまで運行する便(鳥越便)の利用が想定を大きく下回ったことを主因に、利用者数は目標を下回った。	今後もよりよい地域公共交通を目指し、利用者や事業者に聞き取りを行うなど、利便性向上に向け協議していく。
株式会社第二さくら交通	土佐山地域デマンド型乗合タクシー(区域運行)	地域の会や地域公共交通会議にて事業の状況報告・意見聴取を行った上で、現状維持で事業を継続することとした。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 【目標達成率】164% (目標:2,226人/年) 【利用者数】3,643人/年 (対前年比:129%) (対前々年比:164%) 【収支率】3.78% (対前年比:1.37%) (対前々年比:1.7%) H30年度から順次集約した、地域内の診療所やデイサービスの送迎機能が定着し、利用者の増加につながった。 なお、土佐山学舎の通学便もデマンド型乗合タクシーに集約しているが、地域間幹線バスとの乗り継ぎを想定していない運行ダイヤとなっているため、計画運行回数、利用者数の目標値及び実績値からは除外している。 (※令和3年度の土佐山学舎通学便の利用者は6,650人であった。)	今後もよりよい地域公共交通を目指し、利用者や事業者に聞き取りを行うなど、利便性向上に向け協議していく。